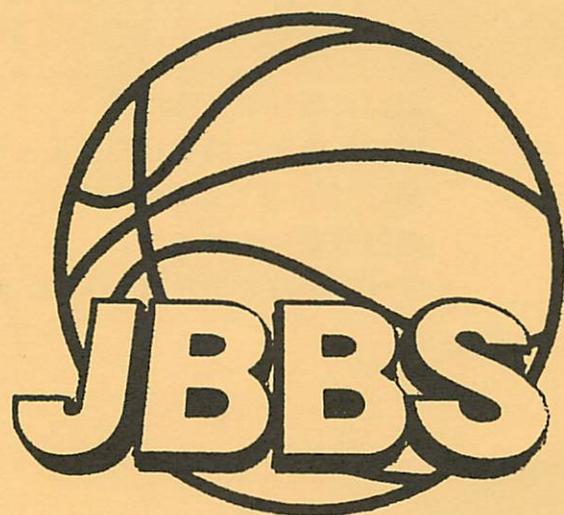


抜粋版

バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

No:21



2003年7月

日本バスケットボール振興会

Molten®

INNER FIRE

情熱とは、あなた自身の内なる炎。
一途にトレーニングに励むときも、

戦いに敗けても挫けず

何度も果敢に挑戦し続けるときも、
熱く、まばゆく燃え続ける。

熾烈な戦いのなかで、
すべての敵を焼き尽くしてしまうまで。



- FIBA (国際バスケットボール連盟)主催国際大会唯一の公式試合球
- abc (アジアバスケットボール連盟)主催大会唯一の公式試合球
- JBL (バスケットボール日本リーグ機構)主催大会唯一の公式試合球
- WJBL (バスケットボール女子日本リーグ機構)主催大会唯一の公式試合球

MTB7WW JB2020 7号球 ¥7,800(メーカー希望小売価格)
国際公認球・検定球・貼り・天然皮革・ワイドチャネル

目 次

- 平成15年総会報告概要と懇親会報告 3
- 特集
 - アテネオリンピックを目指して 広報部会 . . . 11
 - 全日本女子チームヘッドコーチ 内海知秀氏に聞く
 - 同 アシスタントコーチ 萩原 美樹子氏談
- 超OBバスケットボール交流大会 寺田 生男 . . . 18
- 風神雷神
 - ママさんバスケットは楽しい 橋本 章 . . . 21
- わが軌跡
 - 私とバスケットボール 松岡 義明 . . . 23
- 会員だより
 - 森で牡蠣を作る 従野 明宏 . . . 25
 - 雑草でもいい、咲き続けよう 高岡 治子 . . . 27
- 東京オリンピック役員OB懇談会開催 29
- 日本実業団連盟活動方針と役員体制 30
- 日本学生連盟新役員決まる 31
- 訃報・森澤 誠一さんを偲ぶ 坂本 博 . . . 32
- 各団体主要スケジュール 34
- 事務局だより 41
- プラザ こぼればなし 42

特集

アテネオリンピックを目指して

全日本女子チームヘッドコーチ 内海知秀氏に聞く

担当：広報部会

男子女子にかかわらずバスケットボール日本代表チームが、オリンピックに出場することを、日本中のバスケットファンが願っているのは間違いない。この6月、仙台市で開催予定だった女子アジア選手権大会兼オリンピック予選は、新型コロナウイルス（SARS）の影響で開催延期となってしまった。今のところ次の開催日程は未定だが、これまで6月開催へ向けて照準を合わせて調整してこられた、全日本女子ヘッドコーチである内海知秀氏に強化についてお話を伺うことができた。

内海 知秀氏



昭和33年青森県生まれ、能代工業高校から日本体育大学を経て、昭和56年に日本鉱業に入社、全日本代表のポイントガードとしても活躍。昭和63年札幌大学コーチに就任され13年間にわたってコーチを勤め、昨年からはジャパンエナジーヘッドコーチ。

—— 本日はお忙しいところ時間を割いていただき有難うございます。今年度から全日本女子チームヘッドコーチに就任されました。当面の目標はアテネオリンピック出場切符を手に入れることだと思いますが。

「日本人はオリンピックが好きで、スポーツ界では種目にかかわらずオリンピックに出場することが一つの目標になっているようです。バスケットの場合、男子も女子もレベル的には上がってきていると思いますが、男子の場合はそれ以上に周辺国（アジア）がレベルアップしているので大変でしょう。女子の場合は今回アジアから3ヶ国の出場枠があるのでチャンスだと考えています。」

—— オリンピック出場切符がアジアで3枚ですが日本はどうでしょうか？

「多分大丈夫だと思います。Wリーグ終了後ただちに全日本候補選手を選出して4月から合宿に入り、5月に選手を12名に絞って6月のアジア選手権に照準を合わせて強化してきました。短期間に集中して戦力アップを図り、6月下旬にピークに達するよう練習してきましたので、6月開催であれば丁度よかったのですが残念です。何回かの合宿で選手の個性や特徴をつかんできましたが、今度のチームは強いという手ごたえは感じています。今のところは開催延期と次の日程がわからない状況なので、現在は選手を各母体チームへ帰しています。」

—— 延期されているアジア選手権の日程が決まれば改めて合宿などで練習するのでしょうか？

「現在は日程が決まらないので、それまでいかに調整するかが課題です。いつになるかわがては決まるとは思いますが、秋にはWリーグも始まりますし、この次は今までのように数次にわたる長い合宿はもてないと思っています。そういう意味では全体のテンションを短時間で上昇させていくことが肝要です。」

—— 現在選手を規定の12名に絞っていますが、日程によって組替えるようなことは考えておられますか？

「いいえ、今回決定した12名でいくつもりです。日程が延期されたからといってまたやり直すようなことはしません。けが人が出たりした場合は別ですが。」

—— 4月の公開練習のときには相当難しいフォーメーションなどをやっておられましたが、技術的な面はどうでしょうか？

「今回の全日本クラスの選手達はWリーグの母体チームでも活躍している選手なので、多少難しいことでも2～3回教えて練習するとすぐに自分達のものにしてしまいます。そういう意味では選手を信頼しています。現在母体チームに帰していますが、シュート確率のアップなど個々の能力やプレーなどを持続向上させるよう宿題を与えています。」

今まで全日本代表として活躍した選手が残っているので技術的にはそんなに問題はないと思います。強化期間を長くしなくてもフォーメーションなどは理解しあえると思います。あとはコート上の5人に若い選手が入ってどれだけできるかが問題ですが、最初の5～6人については特に心配していません。」

—— アジアで勝つには中国と韓国が当面の敵になるとと思いますが、台湾はどうでしょうか？

「台湾はインサイドに良い動きをする背の高い選手が二人いて、そのうち一人はかなり上手いので高さに対する対策が必要です。ガード陣はそうでもないと踏んでいますが、簡単には勝たしてくれないと思います。中国はやはり一番の難敵で、10回戦ってすべて勝つのは不可能だと思いますし、どう食い下がるかがポイントです。そこへいくと韓国の方が組し易いですがやはり強力なライバルであることには間違いありません。たまたま6月開催だったら、韓国の代表選手二人がWNBAに出場していてアジア選手権には出場できなかったのですがね。」

—— アジア選手権の組合せはどうなっているのでしょうか？

「レベル1（日本、中国、韓国、チャイニーズタイペイ、タイの5チーム）でリーグ戦を行い、上位4チームが決勝トーナメントに進みます。その組合せはリーグ戦の1位と4位、2位と3位が対戦しますので、とにかく予選リーグで上位を狙うしかありません。」

—— 6月に行われたオーストラリア戦とアメリカ戦では好成績を残しましたが、勝因は何だったのでしょうか？

「そうですね、オーストラリア戦では高さ対策を徹底したところ、みんなでできたので満足しています。アメリカは身長がそれほど高くありませんでしたが、ディフェンス面の勉強ができたので、これも良かったと思っています。このように短期間で順調に仕上がってきて6月下旬がピークになるようにしていたので、やむを得ないこととはいえ今回の日程延期は残念です。」

—— 開催日程について予測しておられますか？

「11月か12月、場合によっては来年の1月あたりではないでしょうか。いずれにしてもWリーグや全日本総合と重なりますので日程の調整が大変だと思います。どうしても日程的にやりくりがつかない場合は、与えられた期間内で強化を図らなければなりません。全日本チームとして超短期間でまとめあげることになると、選手の負担も大きくなり調整が難しいです。」

—— 万一国内大会と重なってしまったら、国内大会を延期してでもアジア選手権にかけべきだと思いますが。

「日程が重なってしまったとき、そうして調整していただくと現場はやり易いです。また、そういう措置をとっていただくことによって選手も含めて頑張れると思います。他のスポーツでも選手権がかかった国際大会を最優先にして国内大会の日程を変更したりしているようですし、今回はオリンピック出場切符を争うという背景もありますので、日程調整は是非とも前向きにお願いしたいです。」

—— 当面のライバル国の情報収集などはできているのでしょうか？

「ビデオなどを取り寄せて情報を集めて分析しています。しかし、これも6月開催に照準を当てて収集してましたので、これからは改めて情報を集める必要があります。できれば中国チーム、韓国チーム、台湾チームの情報が欲しいですね。これらの国の国際ゲームの日程がわかれば是非とも教えて欲しいです。特に台湾の情報は入りにくいので、いろいろな人を介して情報収集に努めています。組織的でなくてもスカウティング情報が入手できれば有難いです。」

—— スタッフを含めた全日本チームを、もっと日本全体でバックアップすることが大切だと思いますが、組織的なバックアップなどは如何ですか？

「国際部の方々には外国チームを招聘していただくなど協力していただいています。今年は海外へ武者修行にでかける時間もとれなかったのが、国内で国際ゲームができたことは良かったです。強化部会（女子）で選手の選考や技術的な問題を話し合ったこともあり、前コーチからの引継ぎもありました。また選手も、役員の方やOB、OGの方達が合宿に来られたりして応援していただくと大変力になると思います。」

—— ところでコーチング姿勢についてですが、静的な方と動的な方がいらっしゃいます。内海さんはどちらの方でしょうか？

「私の場合、練習中は時に大声を出すこともありますが、ゲーム中はじっくり話す方です。ゲーム中は選手がどれだけいいパフォーマンスをみせられるか、能力をどれだけ発揮できるかですから、あまり喧しくは言いません。ただ、選手によっては尻を叩くようなことが効き目があったりすることもあるので、その時々状況に応じてやっています。全日本の選手は、言えば皆それなりに理解が早いので、そんなにガミガミ言わなくても大丈夫です。」

—— コーチ陣に萩原美樹子さんがおられますが、以前全日本の選手だった彼女の指導の方はいかがですか？

「現在大学の講義を受けに行っていますが、これも6月開催に照準を当てて受講などの日程調整をしていましたので、延期の影響をものにかぶっています。以前全日本の選手として一緒にオリンピックに行った選手もおり、選手と私のパイプ役になってくれています。選手の相談役もこなす一方で、自分が経験したことを選手に丁寧に伝えることもやっていますし、彼女の一言は選手達にとって貴重な参考意見になっております。本当に謙虚な姿勢で真面目に真剣に選手達を教えていますね。また、男には理解しにくい女子選手特有の問題などについても、彼女が相談相手になって悩みを解決してくれるなど、大いに助かっています。」

—— 最後に、これから予定されていることと日本のバスケットについて考えておられることをお聞かせください。

「これからの日程として8月8日から19日まで強化合宿を行います。この間ロシアのユニバーチームが来日する予定ですので、国際ゲームも組み込まれると思います。そのときは皆さんに応援していただきたいと願っています。また、日本のバスケットについては学生がもっと強くなって欲しいですね。学生が強くなって面白いゲームを多くやれば自然と

観客も増え人気も上がると思いますので、将来日本のバスケットがもっと強くなるため不可欠の問題と考えています。学生も一所懸命に努力することが大切なのではないのでしょうか。」

—— 本日はお忙しいところ大変有難うございました。オリンピックに向かって是非とも頑張ってください。

女子日本代表

Hコーチ	内海 知秀 (ジャパンエナジー)
Aコーチ	梅寄 英毅 (日立ハイテクノロジーズ)
Aコーチ	萩原美樹子 (早稲田大学)
トレーナー	伊藤由美子 (田淵整形外科)
トレーナー	海老沢一哉 (ジャパンエナジー)
マネージャー	高橋 雅弘 (ジャパンエナジー)
マネージャー	今井 香織 (ジャパンエナジー)

選手

楠田香穂里	1 6 5 cm	2 9 歳	(ジャパンエナジー)
藪内 夏美	1 7 5 cm	2 5 歳	(日本航空)
立川真沙美	1 7 1 cm	2 2 歳	(ジャパンエナジー)
大神 雄子	1 7 0 cm	2 0 歳	(ジャパンエナジー)
大山 妙子	1 7 3 cm	2 9 歳	(ジャパンエナジー)
矢野 良子	1 7 8 cm	2 4 歳	(ジャパンエナジー)
紺野 麻里	1 7 8 cm	2 3 歳	(ジャパンエナジー)
永田 睦子	1 7 8 cm	2 6 歳	(シャンソン化粧品)
川畑 宏美	1 8 1 cm	2 4 歳	(ジャパンエナジー)
濱口 典子	1 8 3 cm	2 9 歳	(ジャパンエナジー)
矢代 直美	1 8 2 cm	2 5 歳	(日本航空)
江口 真紀	1 8 4 cm	2 4 歳	(シャンソン化粧品)
平均	1 7 7 cm	2 5 歳	

萩原美樹子アシスタントコーチ談

萩原 美樹子氏

昭和45年福島県生まれ、福島女子高校を卒業後、昭和63年ジャパンエナジーに入社、10年間シューティングフォワードとして活躍、最後の2年間は日本人初のアメリカWNBA選手として参戦した。全日本代表選手としてアトランタオリンピック、ベルリン世界選手権大会にも出場。引退後早稲田大学に入学、同大女子部アシスタントコーチ。女子バスケットテレビ解説者。著書に“プライド/Pride/アメリカへの限りなき挑戦”などがある。



—— お忙しいところ有難うございます。今年度から全日本女子代表チームのアシスタントコーチに就任されましたが、初めての全日本コーチングについてご感想を。

「コーチということで声がかかったときは正直いって驚きました。たまたま早稲田でアシスタントとしてコーチの経験を少し積んだところでしたので、お受けすることにしましたが、それがなければお引き受けすることはなかったと思います。私のような者に声をかけてくださった方々に感謝しています。お引き受けしたからには日本のバスケットのため全力を傾注したいと思います。」

—— 6月に開催予定のアジア選手権が延期となって、まだ開催日程も決まらないようですが全日本チームの方は如何ですか？

「今は一時解散して各母体チームへ帰ってもらっています。6月開催ということに照準を合わせて4月から合宿に入り、集中して練習してきた結果、自分達のバスケットがよくまとまって順調な仕上がりをを見せていたので、今回の延期は残念です。オーストラリア戦に勝ち越して自信をつけ、その後のアメリカ戦で更に良いバスケットになって、結果的には2連勝できましただけに予定通りやりたかったですね。」

—— オーストラリアは上背の高い選手がいたにもかかわらず、よくディフェンスできたと思いますが、上背の高い相手と戦う練習など特別にやったのですか？

「勿論高さ対策の練習もやりましたが、今回はアジア選手権ということでヨーロッパやアメリカのチーム程は高さがないので、それに合わせた練習をしてきました。中国は比較的高い選手が多いようですが、台湾と韓国は平均するとあまり高くないので、高さに対してそんなに神経質にはなっていません。前回釜山で開催されたアジア競技大会で台湾に苦杯をなめさせられましたが、台湾にはこのとき活躍した183cmと186cmの選手がいますので油断は禁物です。」

—— 6月開催だったら韓国の選手がアメリカのWNBAに参戦していたようですね。

「かつて私もWNBAに挑戦しましたが、WNBAのシーズンは6月から9月の間で、契約したらこの間は抜け出すことができません。もし選手権が9月までに行われるとしたらその選手は韓国チームとして出場できないことになると思います。」

—— 萩原さんは現役時代ワンハンドシュートが非常によく入っていましたが、何かコツはあるのですか？

「ジャパンエナジーに入った頃はシュートが下手で、ガードに回されるかと思ったくらいですが、練習の積み重ねでどうにかなるものです。毎日何百本も練習すれば誰でもよく

入るようになると思います。」

—— そういう点についても若い選手達にコーチとして教えているのですか？

「難しいところです。勿論質問されれば小出しにする程度で答えますが、自分の経験談みたいなことを振りかざして、上から押し付けるようなことがないよう常に気を付けています。ついつい“私だったら、私のときは”などと言いたくなる時もありますが、努めて抑えるように注意しています。若い人は経験談に対して“昔の話でしょ”と片付けてしまうこともありますので、こちらでよく自覚しなければいけません。」

—— 女子選手には、女性コーチの方が質問や悩みを話し易いということがあるのではないのでしょうか？一緒にオリンピックへ行行った選手もいますよね。

「最初のうちはこちらから話しかけるようにして、何かあったらいつでもどうぞという具合にコミュニケーション作りに努めました。年齢的に私と近い選手もいますし、ちょっとした愚痴や悩みなども聞くようにしてきたところ、最近では良い関係になってきています。しかし、選手とコーチはどんなに信頼しあっても、それなりに難しい側面があるのはやむを得ないことで、あまり選手の側に立たないことも必要ですし、逆に完璧なことを選手に求めるとキリがないので、その辺は臨機応変にやっています。選手をかばい過ぎてみだめですし選手の気持ちにばかりなってしまうことのないよう、ときには心を鬼にして尻を叩いています。」

アトランタオリンピックでは大山、濱口、永田の3人が一緒でした。大山選手は現在全日本チームの主将をやっています。」

—— 合宿で全体練習と個々の練習の割合はどれくらいですか？また、フォーメーションなどもかなり練習するのでしょうか？

「全体練習が8割で個人練習が2割くらいですね。全体練習はフォーメーション的な練習が多いのですが、各選手とも母体チームで練習しているフォーメーションと違うところは、それなりに矯正してもらうことになりますので、最初のうちは理解するまで少し時間はかかりましたが、4月の合宿中には一通り完成しました。個人練習は主としてシューティング練習で、決められた時間以外の朝とか夜も練習します。そういう場合は、できるだけ付き合うようにして、その選手が何を課題にして、どこを改善しようとしているのかを掌握するよう努め、勿論質問されれば一緒に練習しながらアドバイスもします。」

—— アジア選手権の日程が未だに決まりませんが、今でしたらいつ頃の開催を希望されますか？また特に気をつける相手国はどこでしょうか？

「そうですね、単純に言わせていただくなら9月頃がいいと思います。SARS騒ぎも一段落したようですし、開催国ということで多少なりとも日本にとって有利な日程にしているただけると有難いです。オリンピックの出場切符はアジアで3枚なので決勝トーナメント1回戦突破が最低目標になります。台湾と韓国にはどうしても勝ちたいですね。中国は196cmのセンターがいて、ビデオで見ると速攻のときも一番先頭を走っているくらいですから相当速いし強いと思います。決勝トーナメントの1回戦で中国とは対戦したくないですから、予選では比較的戦い易い台湾と韓国が当面のライバルです。以前にもあったことですが、決勝トーナメントの組合せを考慮して勝敗の駆け引きをし、予選リーグで故意に負けるような国が出ないことを願っています。」

—— 台湾、韓国、中国のビデオやデータなど情報は十分に入っていますか？

「あまり十分とは言えません。できれば全日本のチームにかかわっていない方々のからも情報収集をしていただけると有難いです。全日本のスタッフは相手国にも顔が知られてい

ますので、直接の情報収集はできません。どのスポーツにもいえることですが、最近では情報戦が当たり前ですので、できるだけ情報は欲しいです。」

—— 現在の環境とこれからの予定を聞かせていただけますか？

「現在は早稲田大学で日本史を専攻して勉強中です。以前は中国に興味があり中国史を勉強したいと思っていましたが、WNBAへの参加でアメリカへ行って外から自分の国を見つめ直してみたら、自分の国の歴史について興味が湧き、日本史の勉強をしてみようという気になりました。

大学にはいろいろな分野の方がおられて、資料も大変多く、勉強したり社会人として交流したりできる良い環境が整っていますので、もう少し勉強も続けたいと思っています。8月に予定されている全日本の合宿には出席しますが、この合宿は、今まで積み上げてきたことの確認の機会、そしてアジア選手権がいつ開催されても大丈夫なように心身ともに充実させる機会として、とらえています。バスケットボール関係者の皆様方が、合宿の陣中見舞いなどにきていただけると、選手はそれなりに張り合いが出るものですから応援の方もよろしくお願ひしたいと思います。」

—— 本日は快く取材させていただき有難うございました。

終わりに

このたび広報部会ではアテネオリンピック出場に最も近いとされている全日本女子代表チームのヘッドコーチである内海知秀氏、および女性アシスタントコーチの萩原美樹子氏に取材をお願いしましたところ、お二人とも快くお引き受け下さり非常に参考になるお話を掲載することができました。この紙面を借りて深く感謝申し上げたいと思います。

この上は、近い将来開催されるであろう女子アジア選手権で優勝を目指して頑張っただけ、必ずアテネオリンピックの出場切符を手にして欲しいものです。私達もそのためのバックアップをいろいろと工夫しながら応援したいと思います。

振興会会員の皆様をはじめ、「バスケットボールプラザ」の読者のみなさんの全日本女子チームに対するご理解とご声援を切にお願いする次第です。

超OBバスケットボール交流大会



寺田 生男

平成15年度の「秋田県超OBバスケットボール交流大会」は8月16日（土）～17日（日）、22回目を迎える。会場は平鹿郡雄物川町町民体育館。

雄物川町はJBLで活躍している長谷川 誠選手、能代工業高校加藤三彦監督など、数多くの名選手、名監督の出身地であり、バスケットボールに対するレベルの高い町でもある。

交流大会のあらまし

本大会の運営は、県南地区（大曲仙北、横手平鹿、湯沢雄勝）、県北地区（能代山本、大館北秋、鹿角）、中央地区（男鹿南秋、本荘由利、秋田河辺）の三地区持ち回り制となっている。

参加資格を列記してみると

- ①大会当日満50歳に達していること
- ②名実ともに生涯学習者（バスキチ）であること
- ③各地区会長に承認された人物であること
- ④当番地区会長の定めた条件に快く従うこと
- ⑤思いやりの精神に徹した人物であること
- ⑥女子選手混合については、年齢40歳以上で、上記条件を満たしていること（地区責任者一任）

などとなっている。

ルールについて列記してみると

- ①日本バスケットボール協会競技規則を採用することは勿論であるが、監督会議で合意された柔軟な変更については無条件で許容される（タイムアウトの要求、選手交替の自由など）
- ②競技時間は4クォーター制で、前後半それぞれ6分・休憩1分・8分でハーフタイムは10分
第1・第3ピリオドは60歳以上の選手
第2・第4ピリオドは50歳以上の選手 が出場する
- ③フリースロー大会をハーフタイム中に行う
原則として70歳以上のゲームに出場しない選手（各地区より10名）により行い、個人戦、団体戦とも、得点が同点の場合は年齢が高い選手・チームが上位となる

などである。

交流大会の始まり

戦後まもない昭和21年、秋田市のバスケットボール愛好者が進駐軍と共催で「クリスマス慈善バスケット祭り」を開催、恵まれない施設の子供達を招待、慰問を続けてきた。進駐軍が撤退した後は、三沢空軍基地ジェットチームが協力、秋田いすゞとの好ゲームを見せてくれた。現在はミニから一般まで合わせて70チーム余りが集い、秋田市バスケット

トボール協会の年末恒例行事として継続している。

昭和30年ごろから役員同志での紅白戦や、役員が中学生を相手に汗を流したりしていたが、昭和53年から、県南、県北の仲間達が顔を見せ始め、昭和56年12月20日のクリスマス慈善バスケットボール祭りに際し、連盟発足へと発展。翌57年8月8日、県南六郷町で第1回の全県超OB交流大会開催の運びとなった。(六郷町は川本禮治郎氏の出身地)

開催を始めてから今年で22回目、県南地区開催は8巡目となっている。

忘れ得ぬ人々

池上喜八郎先生(文理大、極東五輪選手、昭和17年～23年旧制秋田師範教授)は、戦後の混乱期で物資調達が困難なころに、同職していた関 四郎先生(元東京学芸大学々長)とご一緒に、バスケットボールマニュアルを作成して正しいバスケットボールを巡回指導、今日の秋田バスケット王国の基礎を築いてくださった。

昭和22年8月には東京文理大(井上一男主将)の横手合宿があり、同年12月の全日本総合選手権大会には東北代表として秋田から2チームが出場。薄暗い明大体育館でのゲームが思い出される。(小生六郷クラブに所属して出場)

平成5年8月14日、第12回大会を飯田川町立体育館で開催、上記池上先生が奥さんを伴って遠い長野から参加してくださったが、平成7年12月ご逝去の報に接した。翌、平成8年8月の第15回大会は、大会の節目として、また教え子達を中心となつての池上先生追悼大会として開催された。

奈良節雄氏(小坂中、川崎高、立教大、日鉱、五輪選手)は平成10年8月、藤里町で開催の第17回大会に県北選手として参加、往年の元気なプレーを披露してくれたが、平成12年1月に永眠された。あの懇親会での談笑が昨日のように思われてならない。

平成13年8月、第20回大会(大館樹海ドーム)の節目に、第1回大会以降の物故者27名の追悼祭を盛大に開催、大先輩達のご冥福を祈った。合掌。

最近の動向

東京文理大出身の加藤雅春氏(秋田北高校に10年勤務、富山国体優勝監督)や、六郷町出身の川本禮治郎氏(振興会副理事長)が参加して下さっているが、特筆すべきは大館桂高校出身の女性たちが、昭和62年の第6回大会以降毎年顔を見せてくれていることである。感謝したり感激したり嬉しい話題である。

大会の日程は第1日目の11時に全員集合、美味しいおにぎりの昼食を食べてから記念撮影。ゲームも和気あいあいと高校、大学、熟年から超OBへと生涯ボールの感触を親しめることは、スポーツマンとしての健全な高齢化を目指すものとして、素晴らしいことだと思っている。

開催地を県南、県北、中央と三地区持ち回り制にしたことで、地域の活性化にも貢献でき、参加者全員が同じ宿に泊まったの交流会は、昔や将来を語り合う、またとない楽しみの一つとなっている。毎年80名程の集まりとなっているが、夜の更けるのを忘れてバスケット談義に花を咲かせることは大変意義深いと思う。今年も元気で集まりたいものだ。

[秋田県バスケットボール協会常任顧問]

超OB交流大会の足跡

回	開催日	開催会場	宿泊場所
1	1982:8:8	六郷町町民体育館	ニテコ庭園
2	1983:8:28	大館市城西体育館	大滝ホテル

3	1984:8:18	飯田川町町立体育館	八郎潟ハイツ
4	1985:8:31	六郷町町民体育館	太田町中里温泉
5	1986:8:28	大館市十二所体育館	大滝ホテル
6	1987:8: 8	秋田厚生年金休暇センター	岩城町
7	1988:8: 8	六郷町町立体育館	角間川温泉田畑荘
8	1989:8:19	小坂小学校体育館	ニュー十和田カルデラ
9	1990:8:18	男鹿中学校体育館	男鹿ホテル
10	1991:8:18	田沢湖青少年スポーツセンター	ホテルニュースカイ
11	1992:8: 8	能代市B&G海洋センター	国民年金保養センター
12	1993:8:14	飯田川町町立体育館	八郎潟ハイツ
13	1994:8:18	大森町町民体育館	大森町休養センター
14	1995:8:17	森吉町町民前田体育館	森吉山荘
15	1996:8:17	秋田市立東中学校体育館	秋田温泉さとみ
16	1997:8:16	角館農林業研修センター	角館温泉花葉館
17	1998:8: 8	藤里町広域藤里体育館	健康保養館ゆとりあ藤里
18	1999:8: 7	飯田川町町立体育館	八郎潟ハイツ
19	2000:8:19	大雄村大雄中学校体育館	ゆとりおん大雄
20	2001:8:18	大館市樹海ドーム	大館矢立ハイツ
21	2002:8:17	秋田市市立体育館	ユーランドホテル八橋
22	2003:8:16	雄物川町町民体育館	国民保養センター三吉荘



第21回 秋田県超OBバスケットボール交流大会 平成14年8月17日 於 秋田市立体育館



風 神 雷 神



ママさんバスケットは楽しい



橋本 章

縁あって、日本家庭婦人バスケットボール連盟の発足に伴い、会長を引き受けてから、早くも6年が経過した。

この間、一愛好者がバスケットボール界の中に入り込んでの印象を述べてみたい。

まずは、家庭婦人バスケットボール(通称ママさんバスケットボール)についてである。ママさんバレーは知っていても、ママさんバスケットとなると首をかしげる人が多い。まして学生時代バドミントンに明け暮れていた私については、古い友人ほど、なんでおまえがバスケット?しかも、ママさんなんだ、という顔をされる。

また、バスケット界においてもママさんは決してメジャーな存在でないどころか、チームの活躍ぶり、まして連盟の存在を知らない人も結構いることは、就任してすぐに判った。

ママさんチームの発足は、全国一律のものではなく、各地のスポーツ教室などでバスケットボールを楽しんでいた愛好者たちが、チームを作り地域で試合を行ったのがスタートである。

したがって、各県に連盟ができたのは1978年の埼玉県が最初であり、以後、長野、千葉と順次結成された。この段階で任意の全国大会を4回開催している点もママさんたちの熱意の現われといえる。

正式な全国大会は、第1回が1982年愛知県豊田市で開催され、18県27チームが参加した。

この大会については、日本協会においてもその重要性を認識され、お母さんたちのバスケットボールを奨励することは将来のミニバス育成に繋がり、「家庭婦人バスケットボールは普及発展の原点である」との位置づけで、底辺拡大の普及事業の一環として主催することになったものである。今年第22回大会を8月に東京都で開催する予定である。

また国際交流の面では、韓国のママさんチームと1983年以来11回の親善大会を開催しているほか、オーストラリアにも遠征した。

このような各地の地道な活動が進展する中で、全国的規模での拡大を図るためには全国組織が必要であるとの機運が高まり、1997年に日本協会普及部直轄の任意団体として日本家庭婦人バスケットボール連盟が誕生したのである。

幸いにして加入チーム、人員とも順調に増加し、2001年には日本協会の正式加盟団体として承認を受けるまでに成長した。

現在36都道府県に連盟を有し、チーム数342、登録者4700余名に達したところであるが、まだまだヨチヨチ歩きの段階である。

当面の目標は、未結成の県をなくし全国どこでもママさんが気楽にプレーできるようにチーム作りをすることである。

昨年は福島ねりんピックにゴールデンシニア(50歳以上)11チームがオープン参

加したが、生涯スポーツとしての位置づけに一步前進をみた。

日頃は家事に、育児に追われるなか、家庭や地域の温かい理解を得てプレーするママさんを見ると、真にバスケットに情熱を燃やしていることがひしひしと感じられる。

私は長年の社会人生活のなかで様々な組織を経験してきたが、ママさんたちの熱意とパワーには真に圧倒されている。この情熱と努力を更に活かしながら、今後とも幅広い年齢層を対象とした組織としてバスケットボール底辺拡大の一翼を担っていきたいと考えている。

今日までの日本協会はじめ、各地域、各位のご支援を感謝申し上げますとともに今後ともよろしくお願ひしたい。

次にバスケット界からのニュース伝達、情報発信について要望を申し上げたい。世の中情報化時代と言われ、様々な情報が氾濫しているが、バスケットボールに関するニュース、記録を一般ファンが入手しようとするとなかなか難しい。

主要なメディアである新聞、テレビに登場する率は関係者は努力しておられるであろうが、他のスポーツ種目と比較して決して高くない。

また、今や手近な情報入手の手段としてインターネット（パソコンや携帯）が急激に活用されている一方で、若者の活字離れが進んでいる。

この意味からスポーツファンの興味を惹きつけ、愛好者へと育成するには多様なメディアに情報提供が必要である。

私はインターネットでYAHOOニュースのスポーツ欄を愛用している。プロ野球では全試合の途中経過がインニング毎に速報されており、投手交代や誰がホームランを打ったかなど即時に知ることができる。

ところがこの欄の分類に他の種目と並んでいるのは、“NBA”であって、日本のバスケットボールは最初から無視されている。従ってJBLやWJBLでいくら熱戦を展開しようが、試合結果の数字ですら報道されない。

確かにJBLもWJBLもホームページは有しているが、ここをクリックするのは余程のファンであり、速報性に問題がある。

インターネットは地域、時間を超越したメディアであり、これを有効に活用することはファンサービスと同時にファン拡大の必須条件であることを認識され、この面での一層の努力をお願いしたい。

[日本家庭婦人バスケットボール連盟会長]

八詩 (はちうた)
BISTRO-MACHI-UTA

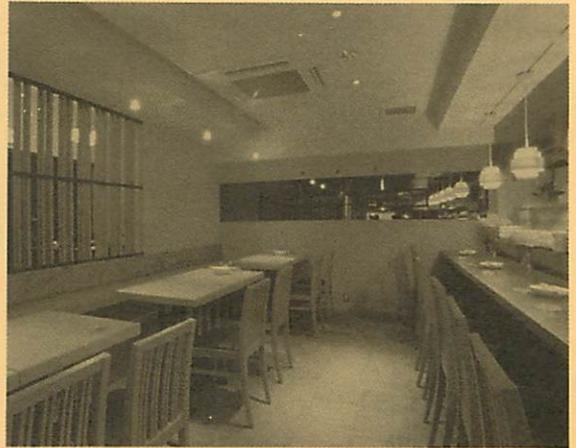
BISTRO 八詩

渋谷の喧騒を忘れそうな和める空間で、旬の素材を。

ごまや

BISTRO ごまや

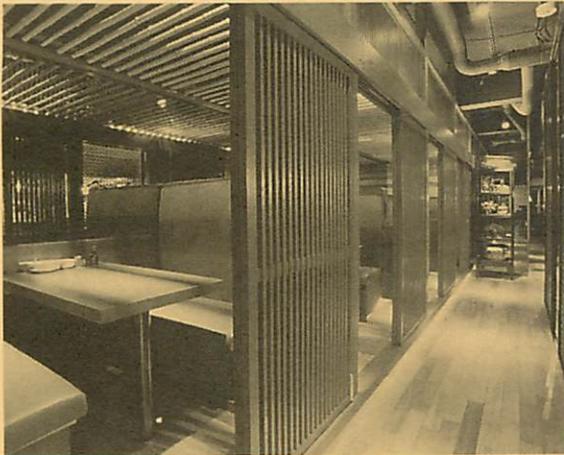
渋谷の真ん中と思えない、まるで大人の隠れ家。



ごまや

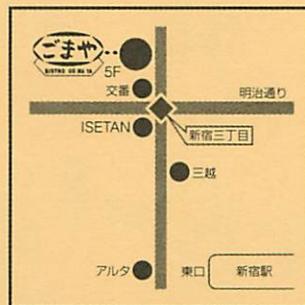
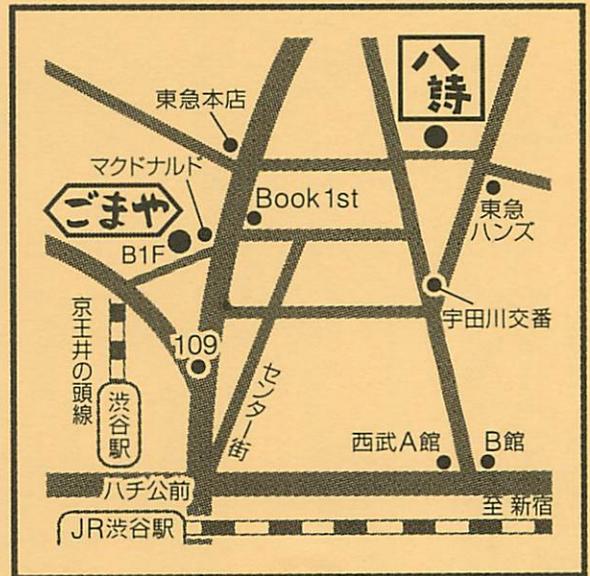
BISTRO ごまや・新宿店

素材にこだわった料理とひとときを、和みの空間で。



おすすめメニュー

手造り胡麻豆腐
季節の野菜で胡麻よごし
豚肉ニンニク味噌巻き
生タコの青のり揚げ
ピリッと胡麻の葉炒飯
生ウニたっぷりスパゲッティー



東京都新宿区新宿3-4-1
カルムビル5F
tel:03-5269-8158
Open 11:30~Last Order 22:45
"年中無休" (120席(個室大小12部屋))

JACKPOT GROUP OFFICE ジャックポットグループ・オフィス
〒155-0032 東京都世田谷区代沢5-35-8 岩瀬ビル1F
TEL 03-3413-9555 / FAX 03-3412-7332 www.jack-pot.co.jp

自分を救え。



Iwano-sora!

Lon-bee!

Hero-bero!

Oh-hada!

Taishi-hoo!

22 PET
New



Let's アミノサプリ!

のんだあとにはリサイクル

